

沖縄鉄軌道構想段階P1

# おきなわ鉄軌道ニュース



2016年  
第4号  
沖縄県企画部

おきなわ鉄軌道ニュースは、鉄軌道を含む新たな公共交通システム(以後「鉄軌道」という)の計画案づくりの検討状況をお伝えするため、県民の皆さまに配布しています。今後も検討状況にあわせて、継続的に発行していく予定です。

8ページ(最後のページ)にあるアンケートに答えてね!



あなたのご意見お聞かせください!

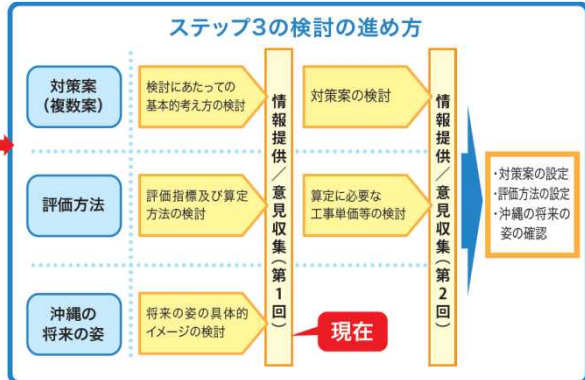
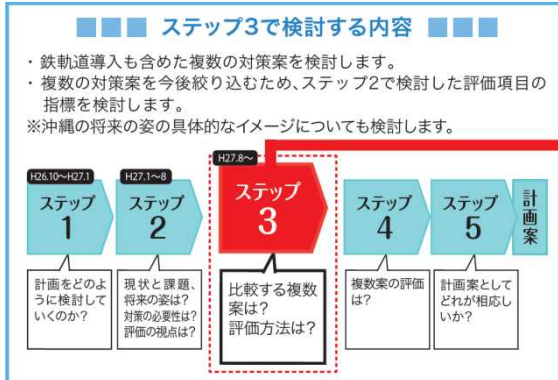
うにげーさびら

\*\*\*\*\*

## 〈那覇～名護間を1時間で結ぶ鉄軌道の導入に向けて〉

- ★平成26年10月から鉄軌道計画案策定に向けた取組をスタート
- ★平成27年1月に、5つのステップで段階的に検討する計画案づくりの「進め方」を決定
- ★1月からステップ2として、「将来のあるべき姿」、「評価項目」等について検討
- ★8月に開催されたプロセス運営委員会の審議結果を踏まえ、ステップ3の検討に着手
- ★11月から技術・計画検討委員会の専門家によるステップ3の審議を開始

## ステップ3を実施中



## 本号の構成

本号ではステップ3の検討の進め方に基づき、技術・計画検討委員会で審議した以下の内容を掲載しております。

- 「将来の姿が実現した場合の  
私たちの暮らし(イメージ)」… P2～3  
「対策案検討の基本的考え方」… P4～5  
「評価指標」… P6～7  
「アンケート」にご協力お願いします… 巻末

## コラム:ステップ2の成果のポイント

5月に募集したステップ2の検討内容に関する県民意見では、5,167人の方からご意見を頂きました。

以下について、県民の皆さんと情報共有が図られました。

- ①公共交通の利便性や交通渋滞等が課題であること。
- ②公共交通の利用促進に向けた取組が必要であること。

また、将来の姿及びその実現に向けた対策を段階的に進めることについて期待する意見が寄せられたほか、現在進めている計画検討を根本的に否定する意見はありませんでした。しかし、一部の方から、将来の姿について、具体的な沖縄の将来の姿が見えないとの意見がありました。

# 1. 将来の姿が実現した

□「おきなわ鉄道ニュース(第3号)」で示した沖縄本島の将来の姿について、観光や経済の振興、交通弱者等の移動手段の確保等を期待する多くの声が寄せられました。しかし、一部の方から、私たちの日常がどう変わるか具体的なイメージが分からない、という声もありました。

## 沖縄21世紀ビジョン(H22.3策定)において 県民が望む5つの将来像

### 将来像Ⅰ

沖縄らしい自然と歴史、  
伝統、文化を大切にする島



### 将来像Ⅱ

心豊かで、安全・安心に  
暮らせる島



### 将来像Ⅲ

希望と活力にあふれる  
豊かな島



### 将来像Ⅳ

世界に開かれた  
交流と共生の島



### 将来像Ⅴ

多様な能力を発揮し、  
未来を拓く島



## 沖縄県総合交通体系基本計画(H24.6策定)で 示されている沖縄本島の将来の姿

沖縄21世紀ビジョン基本計画(H24.5策定)で示された交通分野に関する基本政策の具体的な構想を示す「沖縄県総合交通体系基本計画」では、**那覇と北部圏域の中心都市である名護との移動時間を1時間とする圏域構造の構築**、「沖縄本島の将来の姿」が位置づけられています。

### 那覇と名護との移動時間を 1時間とする圏域構造の構築



おきなわ鉄道ニュース(第3号)P4「沖縄本島の将来の姿」

## 将来の姿が実現した場合の 私たちの社会環境(イメージ)

### 自然

沖縄の豊かな自然環境を保全しながら、適正な利用が図られている



### 生活

地域の拠点を中心としたコンパクトな都市構造が形成され、歩いて暮らせる環境や渋滞緩和が実現している

住み慣れた地域で県民誰もが、保健、医療、福祉の適切なサービスが受けられる



### 産業

情報通信産業が高度化し、知的・産業クラスターが形成され、環境など沖縄のソフトパワーを活かし新たな産業が創出されている

国際物流ハブ機能を活用し県産品や農林水産物などの輸出が拡大している

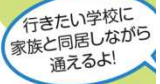


### 観光・交流

県内の各圏域間の交流・移動が拡大している

文化・研究等とおし多様な国際交流が行われている

観光客の多様なニーズに応える観光拠点が多数あり、旅行環境が整備されている



行きたい学校に家族と同居しながら通えるよ!

### 教育

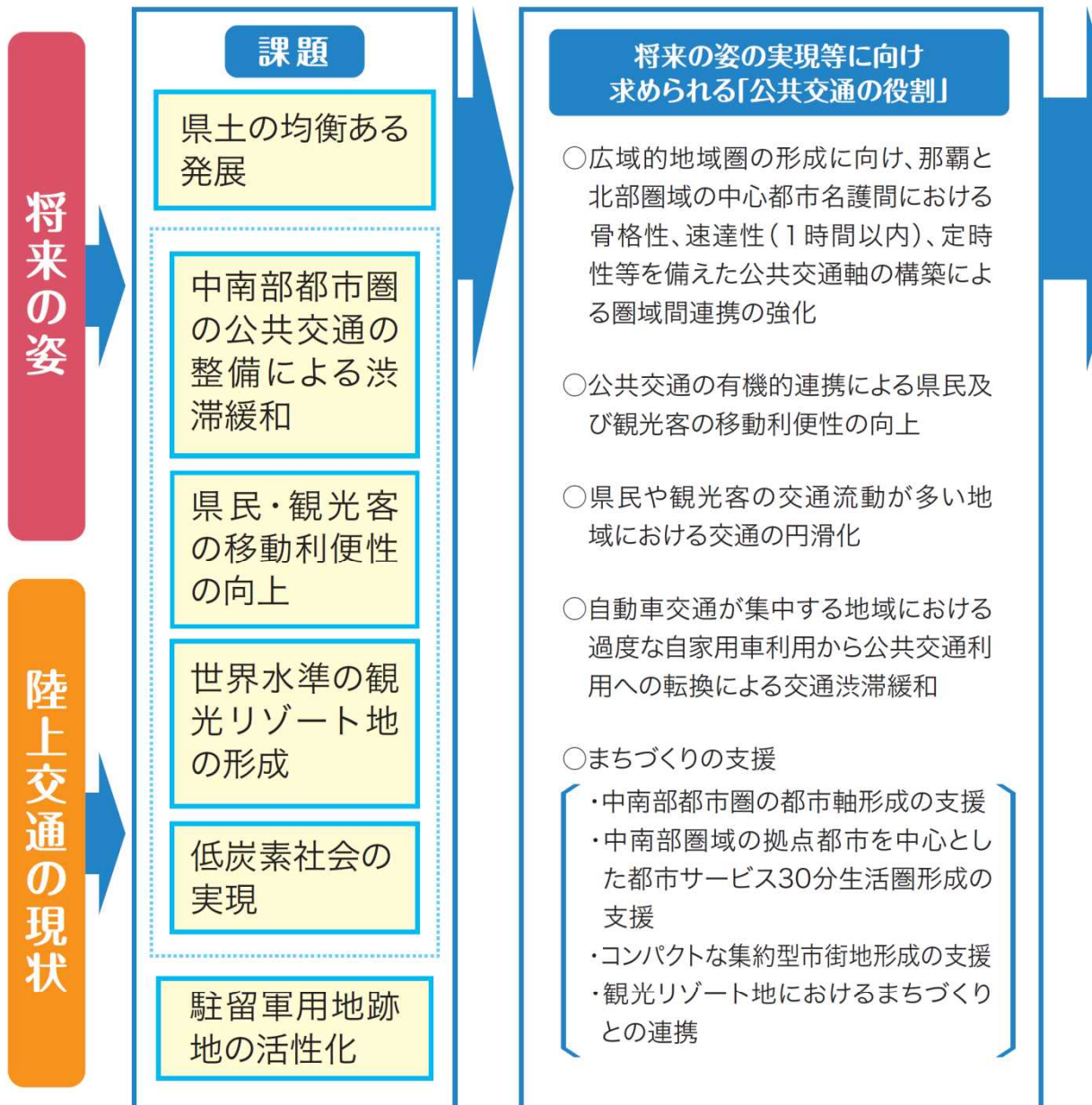
公平な教育機会が享受され、多様な人材が育成されている





## 2. 対策案検討の基本

- ステップ3では、将来の姿の実現に向けた対策について、将来の姿の実現や陸上交通の現状の課題解決の観点から「公共交通の役割」を整理し、公共交通に関する取組(右上図)を整理しました。
- そのうち、「今後、具体的な検討が求められるもの」を本計画案策定における「対策案」として検討を行います。



「陸上交通の現状と課題」は、ステップ2において、県民の皆さまのご意見により整理しました。



「公共交通の役割」をもとに対策案が検討されていくんだよ

# 本 的 考 え 方 に つ い て

- 対策案は、将来の姿の実現等に向け求められる「公共交通の役割」を踏まえ検討を行います。  
みなさんは、将来の実現等に向け、公共交通にどのような役割を求めますか？

## 将来の姿の実現等に向け求められる公共交通に関する取組

### ① 既に取り組みが始まっているもの

- 移動利便性の向上、交通渋滞緩和等に向け、現在進めているノンステップバスやIC乗車券システムの導入など、バスの利用環境改善に向けた取組を着実に実施します。
- また、県民やまちづくりの主体である市町村と連携して、過度な自家用車利用から公共交通利用への転換に向けた取組なども推進します。



これを対策案として  
検討を行うよ。

### ② 今後、具体的な検討が求められるもの

- 那覇と名護間における骨格性、速達性(1時間以内)等を備えた公共交通軸(「骨格軸」)の構築及び公共交通の有機的連携による移動利便性の向上に向け、**骨格軸とフィーダー交通(注)が連携する利便性の高い公共交通ネットワークの構築を図る必要があります。**

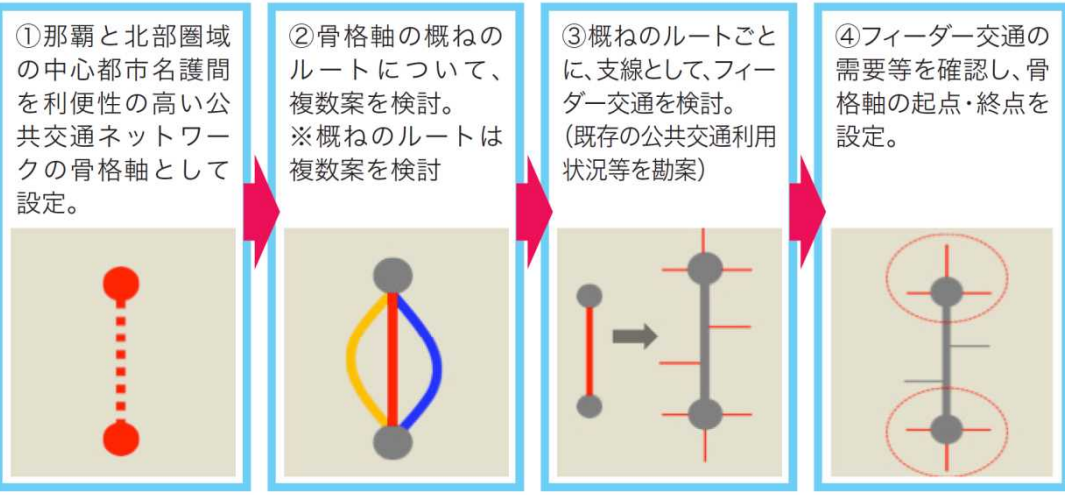
(注)フィーダー交通とは、骨格軸に接続する支線のこと

計画検討委員会の意見を踏まえ  
内容を修正する予定

## 対策案検討の進め方

- 対策案については、将来の姿の実現等に向け求められる「公共交通の役割」を踏まえ、下記の手順で検討を行います。

《検討手順》



※対策案の検討にあたっては、将来の姿の実現等に向け求められる「公共交通の役割」を踏まえ想定されるシステムについても検討を行います。

将来の姿の実現等に向け、公共交通にどのような役割を求めますか？  
※8ページのアンケート問3でお答え下さい。

# 3. 評価指標について

## ステップ3では「評価指標」を設定します

- ステップ3では複数の対策案を設定しますが、複数ある対策案の中から一番適したものを選ぶため、どの案がどの点で優れているか、または劣っているか等を評価する必要があります。
- このため、ステップ3では県民意見(右表)を踏まえて設定された評価の視点(評価項目)について、評価の「ものさし」となる「評価指標」を設定します。

### ステップ2でいただいた県民意見 ＜評価の視点(評価項目)について＞

- ◆ 複数の評価の視点、幅広い視点で評価してほしい
- ◆ 「県土の均衡ある発展」や「県民及び観光客の移動利便性向上」など事業の効果について評価してほしい
- ◆ 「費用対効果」や「採算性」の視点で評価してほしい等

## 「評価指標」ってな～に??



### 評価指標は、評価の「ものさし」!!

- ①「評価の視点(評価項目)」ごとに、いくつかの「評価指標」を設定しているよ。
- ②「評価指標」とは、実施する対策の効果等を測る「ものさし」なんだ。
- ③この「ものさし」で測ることで、対策案それぞれの特徴がわかるんだよ。

右のページに、評価の視点ごとに、設定した評価指標の説明があるので見てね!

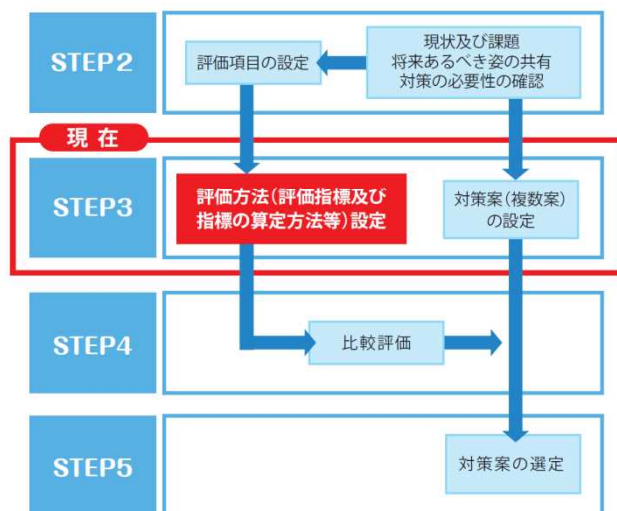
LOOK!!

### コラム: 評価指標はいつ活用されるの?

□いくつかの対策案を評価指標を用いて比較評価する方法は、公共事業で一般的に行われています。

□現在建設が進められている那覇空港の第2滑走路も、増設案を検討する際に「評価指標」により比較評価しました。

□鉄軌道の計画案づくりでも、ステップ4以降において、ステップ3で検討した複数の対策案を、評価指標(ものさし)を用いて、比較評価し、より良い案を選定していくこととしています。



## 評価指標(ものさし)の内容

- 技術検討委員会、計画検討委員会において、対策案を評価するための評価指標について検討しました。

### 事業の効果・影響

○以下の(1)～(5)の視点で、住民生活や地域社会等への効果・影響を測ります。

(1) 県土の均衡  
ある発展

- 那覇～主要都市間の所要時間
  - ・那覇と主要都市間の所要時間を算出し、那覇市からの移動時間を確認
- 通勤・通学圏域の拡大
  - ・拠点都市から30分(60分)圏域内の人口を算出し、通勤や通学できる範囲を確認 等

(2) 県民及び観光客の移動利便性向上

- 県民及び観光客利用者数
  - ・県民及び観光客の利用者数を算出し、公共交通の利用可能性を確認 等

(3) 中南部都市圏の公共交通の整備による交通渋滞緩和

- 公共交通への利用転換量
  - ・自動車利用から公共交通利用へ転換する人数を算出し、交通渋滞への寄与の程度を確認 等

(4) 世界水準の観光リゾート地の形成

- 観光客の移動範囲の拡大
  - ・那覇と主要観光地間の所要時間を算出し、観光客の移動時間を確認 等

(5) まちづくり

- まちづくりへのインパクト
  - ・公共交通と連携した基地跡地のまちづくりに寄与できるか確認
  - ・観光振興を支えるまちづくりに寄与できるか確認 等

### 費用便益分析

- 費用便益比
  - ・道路混雑緩和や所要時間の短縮などの便益を貨幣価値に換算して、事業費用と比較する



### 採算性分析

- 累積資金収支黒字転換年
  - ・運営する会社が黒字になるか、何年後に黒字化するか

### 事業性

- 事業費
  - ・事業費はどの程度か
- 工事期間
  - ・工事期間はどの程度か
- 事業実施にあたっての留意事項
  - ・地形や地盤、用地の確保、災害などの課題に対して配慮することは何か

### 環境

- 環境への影響及び配慮事項
  - ・自然環境や生活環境等への影響について、配慮することは何か

※評価指標の詳細については、技術検討委員会・計画検討委員会の資料をご覧ください(ホームページに掲載)。

## 今後の予定

(予定は変わることがあります)

- ・平成28年1月下旬から本紙を県内全戸配布し、皆さまのご意見を募集するとともに、県内各地でパネル展示(50箇所)や説明員を配置したオープンハウス(11箇所)を実施する予定です。
- ・また、県民会議や市町村会議、関係機関等意見交換会も開催する予定です。

## パネル展示・オープンハウス実施スケジュール

※スケジュール・場所は予告なく変更する場合がございます。

公共施設	平成28年2月1日～5日	国頭村道の駅にがみ、本部町役場、名護市役所 <b>1日午後オープンハウス</b> 、 恩納村役場、金武町役場、読谷村役場、北谷町役場、北中城村役場、中城村吉の浦会館、西原町役場、 与那原町役場、南風原町役場、南城市役所大里庁舎、八重瀬町役場、豊見城市役所、糸満市役所、 沖縄県庁
	平成28年2月4日～10日	うるま市健康福祉センターうるみん <b>8日午後オープンハウス</b>
	平成28年2月5日～12日	東村役場、宜野座村役場
	平成28年2月8日～12日	大宜味村道の駅おおぎみ、今帰仁村コミュニティセンター、沖縄市役所、那覇市役所、 宮古島市役所 <b>12日午後オープンハウス</b>
	平成28年2月8日～15日	嘉手納町役場、浦添市役所 <b>15日午後オープンハウス</b>
	平成28年2月15日～19日	宜野湾市役所、石垣市役所 <b>16日午後オープンハウス</b> 、久米島空港
商業施設	平成28年2月3日～7日	イオン名護、イオン具志川 <b>4日午後、6日午後オープンハウス</b> 、イオン那覇、サンエー西原シティ、 サンエー経塚シティ、道の駅許田交通情報センター内 <b>4日午後、6日午後オープンハウス</b> 、 モノレール県庁前駅
	平成28年2月17日～21日	イオン北谷、イオン南城大里、プラザハウスショッピングセンター(沖縄市)、 サンエー豊見城ウイングシティ <b>18日午後、20日午後オープンハウス</b>
大学	平成28年1月25日～29日	沖縄国際大学 <b>26日午後オープンハウス</b> 、沖縄大学 <b>25日午後オープンハウス</b> 、琉球大学
	平成28年1月27日～2月2日 (土日除く)	沖縄女子短期大学、沖縄キリスト教学院大学、県立芸術大学、県立看護大学
	平成28年2月1日～5日	名桜大学、沖縄工業高等専門学校 <b>5日午後オープンハウス</b>

## 県民会議、市町村会議、関係機関等意見交換会実施スケジュール

※スケジュール・場所は予告なく変更する場合がございます。

県民会議	平成28年1月30日(土) 11:00～16:00	名桜大学学生会館6階ホールB
市町村会議	平成28年2月3日(水) 14:00～16:00	沖縄県中部合同庁舎4階第1～4会議室
関係機関等意見交換会	平成28年2月10日(水) 14:00～16:00	沖縄県南部合同庁舎5階第1・2会議室

※上記会議はすべて傍聴できます。

ご意見・ご質問・お問い合わせはこちらへ!

〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1-2-2  
 沖縄県企画部交通政策課  
 電話:098-866-2045 FAX:098-866-2448  
 メールアドレス info@oki-tetsukidou-pi.com  
 (沖縄鉄軌道構想段階PI)  
 ホームページ <http://www.oki-tetsukidou-pi.com>  
**リニューアルしました!**



沖縄 鉄軌道 検索

### 【意見募集期間】

平成28年1月下旬～2月下旬(予定)

みなさまの声を今後の検討に反映させていただくため、以下のアンケートにお答えの上、郵送、FAX、電子メールにてお送りください。(ホームページ、スマートフォンでも直接入力ができます)

郵送の場合は、下記を切り取り、封筒に貼り付けてください。当方で送料を負担します。

郵送、FAXの場合は、下記を切り取りご利用ください。

料金を取人払郵便  
 9000-8790  
 那覇中央局 承認 1437  
 差出有効期間 平成28年 3月31日まで  
 (受取人) 那覇中央郵便局 私書箱第175号  
 沖縄県 企画部 交通政策課  
 「沖縄鉄軌道・計画づくりPI係」  
 (有)沖縄マーケットプランニング製作

切り取り

【居住地】 \_\_\_\_\_ 県 \_\_\_\_\_ 市・町・村  
 以下の内容について、○をつけて下さい。  
 【性別】 男 女 【年齢層】 10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代～  
 【問1】 沖縄県が、鉄軌道導入の取組を行っていることについて  
 1. 今回知った 2. 以前から知っていた  
 【問2】 将来の姿が実現した場合、あなたはどんな暮らしをイメージしますか?  
 (2～3ページ参照)  
 【問3】 将来の姿の実現等に向け、公共交通にどのような役割を求めますか?(4～5ページ参照)  
 【問4】 その他ご意見・ご要望などご自由にお書きください。

## アンケート